

発行日 平成24年11月15日

センター月だより

10月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・地区別指導活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	0	3	4	7
声かけ件数	606	96	130	832
指導参加者数	68	29	40	137

(指導日誌より)

多治見地区

- ・10/16に小学生連れ去り未遂事件が発生したため、脇之島小では18日も各地区に分かれて集団下校をした。班員も各地区に分かれ下校に同行。予期しない事が起きた時は巡回体制を変えていく。巡回日以外でも、当面は自主的に見回っていくことを確認しあった。(脇之島12)
- ・JR多治見駅の自由通路を二人の男が自転車に乗り、エスカレーターにも自転車を持ち込んでいたので、駅前交番に巡回をお願いした。駅北のトイレの入り口付近にいた少年たちに、早めの帰宅を促した。(南姫9)
- ・パロー2階のゲームコーナーで子ども3人がゲームをしていた。「親は」と聞くと「買い物」と返事があったが、親は確認できなかった。(池田6)
- ・朝は晴れていたため下校時に傘のない生徒が多くいた。仲間と一緒に傘に入って帰る姿があり、気持ちが悪かった。小中学生とも元気でさわやかなあいさつが出来ていて、気持ち良かった。(養正1)
- ・脇之島校区で児童の連れ去り未遂事件があったので、集団下校する子ども達に同行した。(滝呂8)
- ・先月の巡回時に見かけた、ミニストップ旭ヶ丘店に放置された自転車は、店 警察 本人に連絡され、引き取るとの返事があったとのこと。(北栄11)

瑞浪地区

- ・19時30分ごろ、化石公園と体育館付近で部活帰りの高校生8名に声かけした。(日吉1)
- ・雨天のため青色回転灯車両で市街地を巡回。無灯火自転車の高校生2名に注意を促した。(釜戸G)
- ・とても寒くなり街中も周辺も人影なしでした。そこで、11月の巡回は中学校の生徒会が、火・金曜日に朝のあいさつ運動をしているので、7時15分頃から一緒に立って声かけをする予定。(陶E)
- ・駅前や駅裏ロータリーに高校生が多くいたので、帰宅するように声かけした。駅前駐輪場から、無灯火自転車の男子高校生が出てきたので注意した。(瑞浪B)

土岐地区

- ・小学生の下校に同行。見守り隊の方が一緒に歩いて下さる。町の人が家の前で見守って下さる。低学年の保護者が途中まで出迎えるなど、地域全体の支えがとても心強い。(曾木5)

- ・駅前でのたむろは無かった。迎え待ちの高校生が数名階段に座っていた。あいさつは普通に返してくれた。駐輪場のタバコの吸いがらが少なかった。(土岐津 1)
- ・駅前で支援学校の生徒がふらっと道路に出て行くので、車に注意するよう声かけした。駅前で一人のご婦人が、タバコの吸いがらを拾ってみえた。感謝。(特別班)
- ・2班に分かれ、2台の車に分乗し町内全域を巡回した。自転車で無灯火、ヘルメット不着用の男子小学生がいたので注意した。(駄知 6)
- ・18時はすっかり暗くなって、家路を急ぐ高校生もいなかった。中学の女生徒が2人いたので早めの帰宅を促した。(妻木 3)
- ・寒くなった為か、駅前でのたむろは少なかったが、三洋堂書店内は増えていた。駅前と駅裏で女子高生のグループに早めの帰宅を促した。無灯火自転車の男子小学生がいたので注意した。(泉 9)
- ・久保田公園で幼児が遊んでいたのので声かけしたが、親と一緒にいることが分かったので安心した。男子小学生2人が、平成公園近くの道路上で、サッカー遊びをしていたので指導した。(下石 2)

センターから・・・見直しありがとうございます・・・

今月はこの『月だより』と一緒に、指導員の方には、12月から2月までの『街頭指導予定表』を配布します。所属する班の指導予定日と時間、集合場所を確認ください。

なお、先月の「センターから・・・街頭での指導活動を工夫しましょう」で紹介した、各班の事例を参考に、いくつかの班から指導時間や場所の変更連絡がありました。見直していただきありがとうございます。

班員の確認が遅れ、まだ詳細決定していない班もありますが、そのような班はこれまでに連絡頂いた予定になっています。変更が決定したらセンターへ連絡ください。見直しは大いに歓迎します。

街頭指導活動は少しでも多くの子ども達に会って、人間関係を作っていくことが大きな目的です。小さな歩みかも知れませんが、それが大切な一歩です。

活動への全員参加よりも、子ども達への声かけの方が重要です。参加者が減ってもやむを得ません。今後とも適宜、巡回時間帯や巡回場所の見直しをお願いします。

できないことを責めない、とがめない

勉強やスポーツなど、子どもができないことを、教師や親や指導者が責めないことです、とがめないことです。できないことを責めても、子どもができるようにはなりません。

もう一度ていねいに、または何度も繰り返して教えることです。その教え方にも工夫を凝らします。そして、できたときにほめるのです。

そうすると、子どもは自信をつけていきます。